高周波部品

積層ローパスフィルタ 06505 サイズの開発、量産化

・従来品に比べ、体積 51％減の小型・低背を実現

2015 年 1 月 22 日

TDK 株式会社（社長：上釜　健宏）は、スマートフォン、タブレット端末などのモバイル機器における、LTE や次世代高速無線通信システムに対応した 06505 サイズの積層ローパスフィルタを開発し、2015 年 1 月より量産を開始することを発表します。

スマートフォン・タブレット端末などのモバイル機器の小型・軽量化、高速・高周波化に伴い、機器に搭載される電子部品にも高性能かつ小型・低背・軽量化が求められています。ローパスフィルタは、特定の周波数までを通過させることで、必要な電気信号を取り出す電子部品です。本製品は、セラミックス材料の薄層化および導電体のファインライン化と内部電極の形状設計を最適化することにより、従来品 1005 形状（縦 1.0mm×横 0.5mm×高さ 0.4mm）より体積 51％減の 06505 形状（縦 0.65mm×横 0.5mm×高さ 0.3mm）を実現するとともに、高い特性の確保と小型・低背化を両立させています。

本製品は、使用温度範囲が-40℃～+85℃で、モバイル機器の LTE 高周波回路部に使用されます。

主な用途

- スマートフォン、タブレット端末などのモバイル機器の LTE 高周波回路部

主な特長と利点

- 小型・低背化により、実装面積の低減や機器の薄型化に貢献。モジュールへの内蔵にも対応

主な電気特性

製品名	DEA071910LT-4003B1
形状[mm]	0.65 x 0.5typ x 0.3max
挿入損失[dB] at 1.71-1.91	0.55max.
減衰量[dB] at 3.42-3.82	30min.
減衰量[dB] at 5.13-5.73	20min.

生産・販売計画

- サンプル価格　：20 円／個
- 生産拠点　　：秋田地区
- 生産予定　　：1,000 万個／月（当初）
- 生産開始　　：2015 年 1 月

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。

主な製品としては、各種受動部品※（製品ブランドとしては TDK、EPCOS）をはじめ、電源、HDD ヘッドやマグネットなどの磁気応用製品、そしてエナジーデバイスやフラッシュメモリ応用デバイス等があります。アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、現在、情報通信機器、コンシューマー製品、自動車、産業電子機器の分野において、電子部品のリーディングカンパニーを目指しビジネスを展開しています。

2014 年 3 月期の売上は約 9,800 億円で、従業員総数は全世界で約 83,000 人です。

※主な製品は、コンデンサ（積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ）、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、センサ、ピエゾおよび保護部品等です。

本文および関連する画像は http://www.tdk.co.jp/news_center/press/201501221621.htm からダウンロードできます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
大須賀	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6852-7102	pr@jp.tdk.com